

セレキノンS[®]

☑ チェックシート

セレキノンSは過敏性腸症候群の再発症状改善薬です。以前に医師から過敏性腸症候群の診断・治療を受けたことのない方は本剤を服用できません。

本剤を服用いただくには過敏性腸症候群の再発であることの確認が必要です。ご購入前に☑ チェックシートにて症状をご確認ください。

はい いいえ

- 以前に医師から過敏性腸症候群で診断・治療を受けたことがある。

☐ はい ☐ いいえ

いいえ

診断・治療を受けたことがない方は、医療機関を受診ください。

はい

はい いいえ

- 過敏性腸症候群の再発かどうかわからない(たとえば、今回の症状は、以前に過敏性腸症候群の診断・治療を受けた時と違う)。
- 就寝中などの夜間にも、排便のためにトイレに行きたくなったり、腹痛がある。
- 発熱がある。
- 関節痛がある。
- 血の混じった粘液便、下血がある。
- 繰り返すひどい下痢がある(3回/日が1週間以上続く)。
- 急性の激しい下痢がある。
- 排便によってよくならない腹痛がある。
- 嘔吐がある。
- 最近6ヵ月以内に、予期せぬ3kg以上の体重減少がある。
- 大腸がん、炎症性腸疾患(クローン病、潰瘍性大腸炎など)の既往がある。
- 本剤又は本剤の成分に対してアレルギー症状を起こしたことがある。
- 15才未満である。

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

1つ以上「はい」

本剤を服用いただけません。医療機関を受診ください。

すべて「いいえ」

はい いいえ

- 現在、何らかの病気で医師の治療を受けている。
- 妊娠している、又は妊娠している可能性がある。
- 授乳中である。
- 50才以上である。
- 貧血がある。
- 過去に、薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある。
- 肝臓病、糖尿病、甲状腺機能障害、副甲状腺機能亢進症の診断を受けた。
- 大腸がん、炎症性腸疾患の家族がいる。
- 腹痛がひどい(我慢できない程度)。
- 便秘がひどい(1週間に2回以下)。

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

☐ はい ☐ いいえ

1つ以上「はい」

服用前に医師、薬剤師又は登録販売者にご相談ください。

すべて「いいえ」

セレキノンSを服用いただけます。

*薬剤師、登録販売者から服用にあたっての注意事項などの説明を受けてからご服用ください。

販売日	年	月	日
店名			

セルフメディケーション・アドバイス

過敏性腸症候群は、検査では悪いところが見つからないのに腹痛を伴う下痢や便秘が慢性的に繰り返し起きる病気です。

生命に直接かかわるような病気ではありません。原因ははっきり分かっていませんが緊張や不安などのストレスがその発症や悪化にかかわっていることが知られています。ストレスによって腸が過敏になり、下痢や便秘を起こしたり腹痛を感じやすくなったりします。

過敏性腸症候群は生活習慣を見直すことで症状の悪化や再発をおさえることができます。

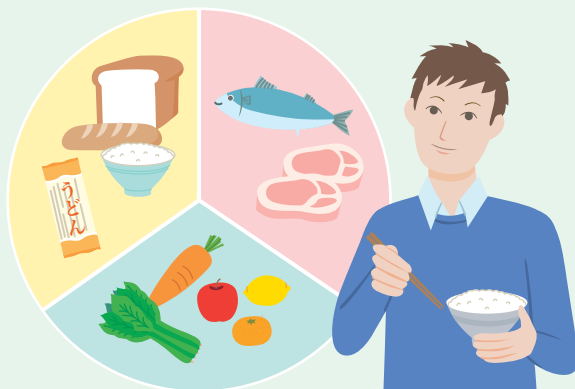
日常生活で気をつけることは？

- 食事は胃腸にかかる負担を減らすため、ゆっくりよくかんで食べましょう。
- 暴飲・暴食は避けましょう。
- 偏食を避け、バランスのとれた食事を心がけましょう。
- 食事時間を守り、規則正しい食生活をしましょう。
- 症状（下痢・便秘）により、食事内容に注意しましょう。

■食事での注意点

下痢型	便秘型
・消化の悪いもの（高脂肪食、乳製品など）は控える。 ・香辛料など、刺激の強いものは控える。 ・アルコールを大量に摂取しない。 ・冷たい飲食物は避ける。	・水分を補給する。 ・食物繊維を摂取する。 ・乳酸菌を含む発酵食品（ヨーグルトなど）を摂取する。 ・香辛料など、刺激の強いものは控える。

- 規則正しい生活を心がけ、十分な睡眠・休養をとりましょう。
- 趣味や運動など、自分に合った方法でストレスを発散しましょう。



生活習慣の見直しはセレキノンスの服用をやめた後も続けましょう。